

Q2

沈降ワクチンと液状ワクチンの違いを教えてください。

A

沈降型ワクチン（DPTワクチン，DTトキソイド，破傷風トキソイド，成人用ジフテリアトキソイド等）では，抗原性を増強させるため水酸化アルミニウム塩，リン酸アルミニウム塩（以下「アルミニウムゲル」という）が用いられており，抗原蛋白は，アルミニウムゲルに吸着しているため，蛋白同士の凝集が起こりにくく，液状ワクチンに比べ安定した製剤となっています。

液状ワクチン（日本脳炎ワクチン，インフルエンザHAワクチン等）では，抗原蛋白の種類により水溶液で長時間静置しておく次第に粒子同士の凝集が起こり若干不安定となるものがあるため，安定剤を添加しています。

外観からも沈降型は白濁があり，細かな粒子が見えてすぐにわかります。使用時にはよく振って均一にしてから使う必要があります。